

## 植栽管理業務委託契約書（案）

### 契約要綱

1. 件 名	芳賀赤十字病院 植栽管理業務一式
2. 業務内容	別紙仕様書のとおり
3. 契約金額	¥ (税込)
4. 契約期間	契約後～令和8年3月31日
5. 業務履行場所	真岡市中萩二丁目10番地1 芳賀赤十字病院指定場所
6. その他	支払：業務完了報告書を提出後に請求書を発行すること。 請求受理後翌月末支払い。

芳賀赤十字病院（以下「甲」という。）と（以下「乙」という。）とは、甲の植栽管理業務を甲が乙に委託することに関し、以下のとおり契約する。

### 〔目的〕

第1条 甲は、本契約に定める条件で、植栽管理業務（以下「本件業務」という。）を乙に委託し、乙はこれを受託するものとする。

### 〔総則〕

第2条 甲は、契約要件記載の本件業務を乙に委託し、乙はこれを受託する。契約要件記載の契約金額は、別に定めのない限り業務を完了するまでに要する一切の費用を含むものとする。また、仕様書等その他の書面をもって契約要件の具体的な定めがあり、本契約と仕様書等との矛盾がみられる場合は、仕様書等の定めが優先するものとする。

### 〔契約の履行〕

第3条 甲及び乙は、本件業務の履行に必要な場合、相手方に対する資料の開示、各作業の中間確認等を要求することができる。

2 乙は、甲に事前に書面による承認を得たうえで、乙の費用と責任で本件業務の履行の一部を第三者に再委託することができる。

3 乙が前項に基づき第三者に本件業務の一部を再委託する場合は、乙は、乙の責任において当該第三者に対し、本契約に定めるすべての事項を遵守させ、乙はこれを管理しなければならない、当該第三者の行為について一切の責任を負うものとする。

### 〔契約の変更〕

第4条 本契約の成立後、甲又は乙より本契約及び仕様書等に記載された条件に対し変更の申し入れがあった場合は、甲及び乙は、当該変更内容及びその可否についてあらかじめ協議期間を設けて協議をおこなうこととする。

2 前項に基づく協議の結果、変更の内容が金額、その他の契約条件に影響を及ぼすものであると両者が判断した場合は、甲及び乙は、書面により変更契約を締結することとする。

### 〔契約内容の公表〕

第5条 甲は、本契約の締結後に次に掲げる契約の内容を公表できるものとする。

- (1) 契約に係る業務内容
- (2) 契約担当部課の名称及び所在地
- (3) 契約を締結した日
- (4) 契約の相手方の名称又は氏名及び住所

- (5) 契約に係る契約金額
- (6) 随意契約によることとした理由
- (7) その他必要な事項

[秘密保持]

第6条 甲及び乙は、本契約により知り得た相手方の業務上の秘密を、相手方の事前の書面による承諾なくして、第三者に開示又は漏洩してはならず、また本契約の目的以外の目的のために使用してはならない。

2 本条の秘密保持義務は、理由の如何によらず本契約終了後もなお有効に存続するものとする。

[天災その他不可抗力による契約内容の変更]

第7条 契約締結後において、天災地変その他の不測の事件に基づく日本国内での経済情勢の激変により契約内容が著しく不適当と認められるに至ったときは、その実情に応じ、甲又は乙は相手方と協議のうえ、契約金額、その他の契約内容を変更することができる。

[契約の解除]

第8条 乙が次の各号のいずれかに該当したときは、甲は何らかの通知、催告を要せず、直ちに本契約及びいまだ履行の完了していない契約の全部又は一部を解除できる。この場合において、解除により乙に損害が生じて甲は賠償の責めを負わない。

- (1) 乙がこの契約の解除を申し出たとき。
- (2) 乙が完全に契約を履行する見込みがないと甲が認めたとき。
- (3) 乙が支払停止又は乙に破産、民事再生手続開始、会社更生手続開始、若しくは特別清算開始の申立があったとき、若しくは居所不明となったとき。
- (4) 乙が次のいずれかに該当するとき。

ア 乙の役員等（乙が個人である場合はその者、乙が法人である場合は役員又は支店若しくは営業所の代表者、乙が団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「暴力団対策法」という。）第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）であると認められるとき。

イ 暴力団（暴力団対策法第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員が経営に実質的に関与していると認められるとき。

ウ 乙又はその役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしたと認められるとき。

エ 乙又はその役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していると認められるとき。

オ 乙又はその役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしたと認められるとき。

カ 乙又はその役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められるとき。

- (5) 前各号のほか、乙がこの契約条項に違反したとき。

[損害賠償]

第9条 乙の契約不履行によって甲が損害を受けたときは、甲は乙に対し、その損害を賠償させることができる。ただし、本契約及び社会通念に照らして乙の責に帰することができない事由によるものであるときは、この限りではない。

2 乙がこの契約を誠実に履行する目的で着手後、前条第1項による解除のため損害を生じたときは、乙は甲の意思表示があった日より30日以内に甲にその損害の賠償を請求することができる。ただし、乙の同意を得て解約した場合はこの限りではない。

〔契約金額の支払〕

第10条 甲は、乙の適法な支払請求書を受理した日から60日以内にその契約金額を乙に支払わなければならない。

〔遅延違約金〕

第11条 乙は、乙の責に帰すべき事由により、本契約及び仕様書に記載された本業務が遂行されない場合、起算して遅滞日数に応じて、契約金額に対し年3%の割合で計算した額の遅延違約金を支払うものとする。

2 前項に定める違約金は、違約罰であって、第9条に定める損害賠償の予定又はその一部としないものとする。

〔債権譲渡の禁止〕

第12条 乙は、甲の承認を得ないで、この契約の履行を第三者に譲渡し、担保に供してはならない。

〔協議〕

第13条 本契約について、疑義を生じた場合には、必要に応じて甲乙協議のうえ解決するものとする。

〔合意管轄〕

第14条 本契約に関連して甲乙間に紛争が生じた場合、甲の所在地を管轄する裁判所を第一審の専属的管轄裁判所とする。

本契約の締結を証するため、この証書2通を作成し、双方記名押印のうえ各自1通を保有するものとする。

令和 年 月 日

甲 住所 栃木県真岡市中萩二丁目10番地1  
氏名 芳賀赤十字病院  
院長 本多 正徳

乙 住所  
氏名